

消費税率の引上げの処理は厳格に行う！

～国税庁Q&Aを公表～

4月からの消費税率5%から8%への引上げに関連して、疑問点とされていたことについて、国税庁がQ&Aを1月20日に公表しました。5%、8%の区別はきわめて厳格に行うというルールが初めて明らかにされました。

すでに多くの大手不動産業や宿泊施設等が3月にもらう4月分は5%だと告知していたため、「お詫びと訂正」が多く出されています。これは、今までの規定が曖昧だったため誤解を招いたものであり、より原則に戻ってきちんと処理をしようというものです。

Q&Aではその他にも、

1. 事務機器の保守サービスなどで3月31日をまたぐものは8%
2. 法人税の申告で認められている短期前払い費用も家賃と同様の処理
3. 取引で売上げる側が出荷基準や仕入れる側が検収基準で3月31日をまたぐものは出荷日で判断して5%、仕入れる側は4月に検収して仕入を4月に計上しても税率は8%ではなく5%に合わせる
4. 返品処理はより厳格にする
5%で3月に売上げた商品の返品は5%、4月に8%で売上げた商品の返品は8%として処理する

《例：4月の家賃を3月に払う》

4月分の家賃は8%の消費税です。支払側は、消費税を含んで105万円を3月に支払い3月の経費とした場合でも、支払側は、5万円の消費税と100万円の家賃ではなく、7万7,777円(105万円×8/108)の消費税と97万2,223円の家賃を払ったと会計処理をします。

家賃をもらった側は、105万円をもらっても、97万2,223円の家賃と7万7,777円の消費税をもらったとして税務処理をすることになります。

正しく消費税率を判定しましょう。

WindowsXP パソコンの買い替えはお済ですか？

マイクロソフト社のWindowsXP へのサポートが2014年4月9日で終了します。

サポートが終了するとパソコン周辺機器メーカーやソフトメーカーは今後、XPで動作する物を作らなくなり、ウィルスに感染しやすくなったり、新しく購入したマウスが動かなかったり、今後導入される新消費税に対応した会計ソフトが使えなくなったりします。

また、いざ購入しようと思っても買い替え時期が重なってしまえば、パソコンが品薄になったり、価格が上昇したりします。購入後の設定やソフトインストール等もありますので、買い替えは余裕を持って行うことをお勧めします。

新しいパソコンを購入する際、Windows 7とWindows 8搭載のパソコンが選択できます。

Windows 7であれば、現在利用中のパソコンとほぼ同じ操作で使えますので、スムーズに導入が出来ますが、Windows 7も6年後にはサポートが終了するというデメリットがあります。

Windows 8は最新のOSですがタッチパネル操作に最適化されている為、今までのマウス操作と違いますので慣れるまで時間がかかる場合があります。

また、各OSには32bit版と64bit版があります。

パソコンを買い換えて、新消費税に対応する為に最新バージョンの会計ソフトを導入する場合は、64bit版のOSでも動作しますので、安定した64bit版をおすすめします。(勘定奉行と弥生会計しらべ)

最新型のパソコンを購入する場合、当事務所で使用するレベルの性能のデスクトップパソコンでしたら現在、約18万円が相場です。(DELL 直販モデル)

インターネットを楽しむなど、個人で使用する場合はCPUの処理速度が速くなくても差し支えありませんので、大手ショップで販売している10万円以下のパソコンでも問題ないと思います。

パソコンを買い換える際には、使用用途を考えて選んで下さい。

安いパソコンはその分、処理速度が遅くなる場合があると考えていただき、モニター別売りと小さく書いてないか等も注意してご検討下さい。

ソフトのバージョンアップ

Windows 7 または、Windows 8 に買い換えた場合、OS が変わるだけではなく、業務ソフトもバージョンアップが必要になるので注意が必要です。

バージョン	Windows XP	Windows 7	Windows 8
Microsoft Excel 2013	×	○	○
2010	○	○	○
2003	○	○	×
弥生会計 14	○	○	○
09	○	○	×
勘定奉行 i 8	○	○	○
21Ver5	○	○	○
21Ver4	○	○	×

※ ○：動作対応 ×：動作非対応

ウイルス対策ソフトも、Windows XP サポート終了に伴い、新しいウイルスの脅威に対抗するプログラムの提供を停止するところもあります。

Microsoft が提供しているウイルス対策ソフトの Microsoft Security Essentials は本来 2014 年 4 月 9 日の XP サポート終了と同時にサポートを終了する予定でしたが、2015 年 7 月 14 日まで延長されました。

ウイルス対策ソフトを提供しているメーカーは多数ありますので、確認が必要です。

インターネットに接続しているパソコンであれば、どのメーカーのウイルス対策ソフトでも構いませんので入れておく必要があります。

販売されているウイルス対策ソフトであれば、迅速かつ強固にウイルスからご利用中のパソコンを守ってくれるでしょう。

ですが、OS が Windows 7 か Windows 8 でプロバイダのメールサーバーでメールへのウイルスチェックを行っているのであれば、無料の Microsoft Security Essentials でも構わないと思います。

Windows 7 の場合は、専用のサイトからダウンロードしてインストールが必要ですが、Windows 8 の場合は、その上位ソフトである Windows Defender が初めからインストールされていますので、それ以上のサポートを必要としない場合はこれで十分だと思います。

このウイルス対応ソフトの件でご不明な方は、（事務所システム担当：^{ありいえ}有家）までお問い合わせください。